

令和元年度 自己評価結果と学校関係者評価

とねがわ幼稚園

1 教育目標・教育方針

評価項目	学校職員の自己評価 ○…よい点 △…課題	
1 教育目標・教育方針の具現化への取り組み【1,2,3】	○教師一人ひとりが子どもの目線で考えて接し、教育目標の方針が子ども達の中に生きている。子ども達に具体的に示したことで分かりやすかった。 △クラスでは学年の目標もあり、混乱する場面もあった。	
2 教育活動推進のための責任や役割の理解【4,5】	○職員間ですぐに相談対応できる体制が整っていて、仕事がしやすい環境。 △職員の年齢差（経験の差）がある中、お互いに努力し合い、よりよい関係が築けている。さらに様々な意見が自由に交流できる雰囲気作りに努めたい。	
職員の自己評価 A	関係者評価	<ul style="list-style-type: none"> ・新たに設定した5つの視点は、今後の指導の柱となる。 ・意思疎通は難しい問題であるが、お互いに歩み寄り、良い方向にある。 ・教師一人一人の良さが様々な保育の中で生きるようにしたい。
関係者による評価		
A 評価は適切		

2 教育課程・指導計画

評価項目	学校職員の自己評価 ○…よい点 △…課題	
3 教育課程の編成と教育活動の充実改善【6,7】	○カリキュラムを子どもの実態に応じて、目標の視点で見直し、重点化した。△カリキュラムの見直しの際、①行事との兼ね合いによる位置づけ ②時間配分の視点 ③子どもの実態に応じた視点の3つの視点で見直しを継続する。	
4 教育活動の工夫・改善【8,9,10】	○学年で遊ぶ機会や集団遊びを仕掛け、交友関係が広がった。 △過去の成功体験、効果的だった指導をストックし、園全体の財産として共有できるような仕組み作りを行う。	
職員の自己評価 B	関係者評価	<ul style="list-style-type: none"> ・とねがわ幼稚園ならではの教育を推し進めている。伝統的に残す内容と新しい時代にあった内容をバランス良く配置することが大切。 ・園児中心の保育を様々な場面で取り組んでいる。
関係者による評価		
B 評価は適切		

3 教職員の資質・教育環境

評価項目	学校職員の自己評価 ○…よい点 △…課題	
5 指導力向上【11,12,13,14】	○充実した研修が行われた。来年度においても実技的研修を取り入れたい。 △自己の成長を感じているが、目立たない子への対応を工夫したい。	
6 教育環境づくり【15,16,17】	○保育者と園児の信頼関係がどのクラスでも実現した。 △避難訓練がパターン化しているので新たな視点での取り組みが必要。	
7 安心安全な生活実現【18, 19, 20】	○年5回の避難練習を行い、安全に行動できる子どもが育っている。 △安全点検での内容を共有し、事後処理を職員全体に周知徹底する。	
職員の自己評価 A	関係者評価	<ul style="list-style-type: none"> ・登園前、降園後の園内の安全点検、環境整備が徹底している。 ・預かり保育など、新たな視点での安全点検を計画したい。 ・園庭の自然環境の充実を図りたい。【園庭改善計画の策定】
関係者による評価		
A 評価は適切		

4 家庭・地域との連携

評価項目	学校職員の自己評価 ○…よい点 △…課題	
8 家庭との連携。教育力向上【21,22,23,24,25】	○保護者とよく連携協力することができた。保護者アンケートでも高評価。 ○保護者がよく幼稚園の行事を支援していただき充実した活動になった。 ○ひよこ組、こぐまサークルの充実により通常保育の面でも効果があった。	
職員の自己評価 A	関係者評価	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方が保護者と密接に連携しながら（太い信頼関係）、一人ひとりの子どもに応じて保育している様子が分かる。 ・保護者のニーズを把握して、今言お園経営にあてたい。
関係者による評価		
A 評価は適切		

5 総合的な評価結果

結果	理由
A	・園児を主人公とした園の基本方針が、様々な面で具体化している。多くの行事の中で、園児一人ひとりが、活躍していた。職員が一丸となって保育にあたっている姿があった。職務内容が増加していることを含め、職員の負担軽減を図りたい。